学校番号	308

平成 31 年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史 A	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「世界史 A」　（東京書籍）						
副教材等	グローバルワイド最新世界史図表 二訂版（第一学習社） 世界史 A ワークノート（東京書籍）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歴史事象に「なぜ」の視点を持ち、考察を行う。
・諸地域の民族・王朝・文化の特色や発展の過程を諸資料から読み取る。
・歴史を背景とした世界の国の諸事情を踏まえ、現在の日本の在り方を考える。

2　学習の到達目標

・諸資料に親しみ、歴史的思考力を培う。
・現代の諸課題を、近現代史を中心とする歴史と結びつけ、歴史的観点から考察することができる。
・世界の歴史を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	近現代史を中心とする世界の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追求するとともに、国際社会に主体的に生きる国家・社会の一員としての責任を果たそうとする。	近現代を中心とする世界の歴史から課題を見出し、世界史的視やに立って多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえ公正に判断する。	近現代史を中心とする世界の歴史についての諸資料を収集し、有用な情報を選択して活用することを通して歴史的事象を追及する方法を身につけるとともに、追求し考察した過程や結果を適切に表現する。	近現代史を中心とする世界の歴史的過程と生活・文化の地域的特色についての基本的な事柄を理解し、その知識を身につけている。
評価方法	・授業中の取り組み ・ワークノート ・プリント課題 ・定期考査	・授業中の取り組み ・ワークノート ・プリント課題 ・定期考査	・授業中の取り組み ・ワークノート ・プリント課題 ・定期考査	・発問評価 ・定期考査
	［主題学習］ ・レポート課題 ・グループ討論	［主題学習］ ・レポート課題 ・グループ討論	［主題学習］ ・レポート課題 ・グループ討論	［主題学習］ ・レポート課題 ・グループ討論

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	ユーラシアの諸地域世界	・東アジア世界 ・東南アジア世界 ・南アジア世界 ・西アジア世界 ・ヨーロッパ世界 ・南北ｱﾒﾘｶ・ｱﾌﾘｶ ・ユーラシアの交流圏	○ ○ ○ ○ ○

1学期	大西洋世界の変容とその波及	・ヨーロッパとアメリカの諸革命 ・産業革命と世界市場の拡大 ・ヨーロッパの動乱の波及	○	 ○ ○	 ○	○ ○	a: 産業革命、米仏革命の展開、その影響や社会の変化などについて,意欲的に学習しようとする。 b: 産業革命、米仏革命の内容、影響について多面的に考察し、文章にまとめる。 c: 産業革命期の都市を描いた風刺画や米仏革命の中で出された宣言から各革命の後世への影響を読み取る。 d: 産業革命、フランス革命の意義を、以後の世界史の展開と関連づけて理解している。	授業の態度 発問と評価 課題の提出 定期考査
2学期	産業化社会の拡大と成熟	・ウィーン体制とその崩壊 ・国民国家への道	○	○ ○	 ○	○ ○	a:ウィーン体制によって形成された秩序とその崩壊後に登場する新たな国家や勢力について、意欲的に学習しようとする。 b:ウィーン体制の内容およびその崩壊によるヨーロッパ各地の変化について多角的に考察し、文章にまとめる。 c:ウィーン体制崩壊後の民族運動の高まりや新国家の誕生、欧米における自由主義への移行や社会主義の登場などを学ぶ際、当時の記録を適切に活用している。 d: ウィーン体制の内容や自由主義の台頭、各国の政治的変化や新しい思想について理解している。	授業の態度 発問と評価 課題の提出 定期考査

2学期	アジア諸国の変貌と日本	・東アジアの変容 ・東南アジアの変容 ・南アジアの変容 ・西アジア、アフリカの変容	○ ○	○	 ○ ○	 ○ ○ ○	a: 列強諸国のアジア進出の状況や中国国内の動きを、日本の歴史と関連付けながら意欲的に学習している。 b: 列強諸国の進出を背景に戦争が勃発し、アジア支配が動揺するなか、当時の日本の立場や動きについて考察し、文章にまとめる。 c: ヨーロッパ諸国のアジア進出に関する資料を適切に活用している。 d: ヨーロッパ諸国の進出とアジアの従属化の状況を多面的に理解している。	授業の態度 発問と評価 課題の提出 定期考査
	帝国と民族の時代	・急変する人類社会 ・植民地の拡大と深まる国家の対立 ・アジア・アフリカの抵抗運動	 ○ ○	 ○ ○	○ ○	○	a:・帝国主義時代の特色および世界の植民地化の展開について関心を高め、意欲的に学習している。 b; ・帝国主義時代の特色と社会的矛盾や植民地の抵抗運動について多角的に考察し、現在の諸問題に繋がる問題点を指摘する。 c: 博物館や美術館などの資料および植民地の抵抗運動に関する資料を収集し、適切に活用している。 d: 帝国主義時代の欧米諸国の動向やその社会的特色、植民地化と植民地の抵抗について理解し、知識を身につけている。	授業の態度 発問と評価 課題の提出 定期考査

3学期	二つの世界大戦の時代	・第一次世界大戦 ・戦後秩序の形成 ・世界恐慌とファシズム ・第二次世界大戦	○ ○ 	○ ○	○ ○ ○	 ○ ○ 	a: 世界大戦が人類社会に未曾有の犠牲をもたらしたことに関心を持ち、その原因と展開について意欲的に学習している。 b:世界大戦の展開について多面的に考察する。 c: 世界大戦に関する写真やデータなどを収集し、適切に活用している。 d: 世界大戦の推移やその影響について理解し、知識を身につけている。	授業の態度 発問と評価 課題の提出 定期考査
	冷戦と民族独立の時代	・戦後世界の形成 ・アジア、アフリカの民族運動 ・冷戦体制の動揺 ・冷戦の終結					a: 冷戦構造の形成やその変容に関心を高め、その意義を意欲的に学習している。 b: 冷戦構造の形成過程や展開を具体的に考察し、分かりやすく図示できる。 c: 冷戦に関する資料を収集し、適切に活用している。 d: 冷戦構造の形成と変容について理解している。	授業の態度 発問と評価 課題の提出 定期考査
	グローバル化のなかの危機	・グローバル化とアメリカ合衆国 ・地域統合の模索 ・動揺する中東と世界の地域紛争 ・アジアの変容と多様化	○ ○	○ ○ 	 ○ ○	 ○ ○ ○	a: グローバル化の進展と現在に残る各地域の諸問題について意欲的に学習している。 b: グローバル化の進展が人びとの生活にあたえる影響を考察し、その功罪について文章にまとめる。 c: グローバル化の進展や、環境問題に関する資料を収集し、適切に活用している。 d: グローバル化の進展と各地域の諸問題についての知識を身につけている。	授業の態度 発問と評価 課題の提出 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。